

梅ヶ丘病院跡地利用基本構想・調整プラン（素案）に対する主な意見（説明会、関係団体・学識経験者、町会・自治会等）

1. 説明会

- ・厳しい財政状況ではあるが、保健医療福祉の拠点づくりを目指し、ぜひ世田谷区から全国に発信してほしい。
- ・在宅介護の住環境についての専門相談や専門人材育成の機能を、相談支援・人材育成機能に含めるべきだ。
- ・健康づくり機能については、予防に力を入れてほしい。
- ・特別養護老人ホームをつくるべきだ。
- ・精神障害者への対応として、国の方針は訪問中心にシフトしているということからも、跡地にはアウトリーチの拠点をつくってほしい。
- ・精神等のこころのケアについて、丁寧に相談等に応じてくれる中間施設が必要だ。
- ・精神疾患のある子どもを持つ家族として、丁寧な診療とリハビリや入院、経済的にも安心して通うことができた梅ヶ丘病院の存在は大きかった。病院の再開を東京都に要望してほしい。
- ・施設へのアクセスの向上が必要だ。
- ・既存のみどりの保全だけでなく、周辺住民に十分に配慮をして、計画的なみどりの配置や管理をしてほしい。

2. 関係団体・学識経験者

○調整プラン（素案）について

- ・プランに期待を寄せている。実現に向け推し進めていただきたい。
- ・地域移行を目指すという区の考え方に賛同する。地域生活を支える拠点として、地域生活支援型（通過型）入所施設の開設を必ず実現していただきたい。

○保健医療福祉サービスの拠点として必要なサービスについて

- ・医療との連携は必要不可欠であり、跡地にはクリニックなど医療体制を整えてほしい。
- ・聴覚障害者へのサポートについても、検討に含めてほしい。
- ・医療を含む生活全般についての相談ができ、情報が得られるよう、医療・福祉の情報を集積・提供できるネットワークを整備してほしい。
- ・地域のグループホーム・ケアホームや在宅で生活する障害者には、バックアップ機能となる入所施設が必要だ。また、入所機能だけでなく、グループホーム・ケアホームの世話人、ケアマネジャー、ヘルパーなどの人材の養成・確保も必要不可欠である。
- ・松沢病院やその他診療機関との連携も必要だ。
- ・小児精神医療の機能を復活・再開してほしい。
- ・診療所等の一次医療機関をバックアップする拠点機能を整備してほしい。

○拠点に期待すること

- ・跡地を拠点とし、区内5地域でその機能が十分に活用できる体制になることを期待する。
- ・福祉と医療が連携して在宅の障害者を支援していくため、多職種協働によるチームでの在宅医療・介護サービスの実現。また、その人材育成の場としての機能。
- ・障害者雇用の場を創設してもらいたい。また、大規模災害が起きた時に要援護者（高齢者・

障害者）の支援や災害時に医療を必要とする障害者の受け入れや避難所としての機能も整備してほしい。

- ・跡地で展開される保健医療福祉のサービスが障害理解促進のきっかけとなり、広く区民の理解や協力が得られるような体制が構築できることを望む。
- ・ユニバーサルデザインを考慮した地域に開かれた施設としてほしい。
- ・交流活動の場として、団体利用なども可能にしてほしい。

○拠点と関連して地域に必要なサービスについて

- ・高度な医療的ケアにも対応できるグループホーム、短期入所施設、通所施設を望む。
- ・地域の医療機関や医師とのネットワーク構築
- ・誰でも利用しやすい相談支援（窓口）
- ・子育てニーズに応え、認可保育園をつくってほしい。周辺の認可保育園を移設・閉鎖することなく存続させ、機能面でも拡充した認可保育園の増設を希望する。

○その他

- ・障害者や高齢者の立場に立った交通環境の整備、跡地のある梅丘・豪徳寺地区までの交通利便の向上を望む。
- ・機能を寄せ集めただけという結果にならないようにすべき。さらに、既に地域展開している機能や施設、サービスについても、廃止・処分することなく存続させ、充実させてほしい。
- ・後年度に多額の区民の負担を残すべきではない。極力区民負担が生じない努力をしてほしい。

3. 地元町会・自治会等

○全区的な保健医療福祉の拠点づくり

- ・マンションより、やはり広く福祉に使われたほうが良い。梅丘地区（特に駅北側）の発展のためにもその方が望ましい。
- ・人材、例えば理学療法士等をどれだけ集められるかが課題である。民間のリハビリ施設との競合もある。

○地域環境との共生

- ・跡地がまちから孤立しないよう、一緒にまちづくりを進めていきたい。

○多様な交流の創造

- ・都立光明特別支援学校とは親和性があり、連携していくべき。

○財政見通しとの整合

- ・用地取得、維持管理費も大きく、財政見通しとの整合に留意すべき。

○その他

- ・地元自治会と緊密に連携してほしい。
- ・区民への情報開示は早めに行うこと。